

活動報告書

報告日付：2022年4月15日

事業ID：2021000557

事業名：大阪府寝屋川市における「子ども第三の居場所」コミュニティモデルの開設と運営(1年目)

団体名：(特非)GOFAR BANK

事業完了日：2022年3月31日

1. 事業内容

1. 「子ども第三の居場所」の整備

物件現況：絵画教室（築65年）

内容：全面改築、備品・家電購入など

施設名称：子どものためのサロン「GOFAR'S」

面積：総面積約135m²

構造：木造モルタル造り

施設概要：アトリエ、食事・学習スペース、キッチンなど

定員：子ども15名

2. コミュニティモデルの運営

(1) 期間：2021年3月6日～3月31日（週3日、14時から19時まで開所）

(2) 場所：大阪府寝屋川市

(3) 対象：家庭や自身に課題を抱えた未就学児童から高校生を中心に15名

(4) 内容：「子ども第三の居場所」をつくり、子どもとの1対1の関係を重視しながら、子どもたちの生活習慣形成や学ぶ意欲向上を支援することで社会的相続を補完する。入所児童が心までもバリアフリーになれることを目的に活動する。

2. 契約時事業目標の達成状況

- ・2022年3月6日までに「子ども第三の居場所」コミュニティモデルを開設できた
- ・運営開始までに関係各所（自治体・学校・地域住民など）へ事業の説明会を実施した
- ・ボランティア等の地域住民や、行政、学校との関係構築、多世代交流機会の提供として開始できた

3. 事業実施によって得られた成果

- ・開設事業については助成金を得たことで、新しくコミュニティモデルの運営拠点（カフェ）の設置を行うことができた。
- ・放課後保育の定員（15名）については、コロナ禍で積極的に行政（市・学校）に出向くことができなかったことや貧困家庭というワードを前面に出さないという制約もあり、目標未達ではあるが、行政における認知も高まっており、次年度に重点的に取り組んでいく。

- ・ボランティアスタッフや地域住民(自治会)の理解は一定浸透することができている。
- ・助成金受領期間終了後の自立を3年後に設定しており、基盤のカフェ事業・貸しスペース事業についてもホームページ改修も含め、現在推進中。

4. 活動を通じて明らかになった新たな課題と対応案

・「GOFAR'S」の運営に関しては、子どもの通所について「月謝制のアトリエ運営」と「支援の必要な児童の放課後保育運営」とを両立させていくという課題があり、前面に「貧困家庭」「支援」といったワードを打ち出せない。

そのため、行政・教育期間からの「子どもの情報提供」が必要になり、また、その保護者への説明といった難しい問題もある。

今後は新年度を迎えるということもあり、定期的に行政・学校関係者とコンタクトを取ることとし、丁寧に受け入れを行っていきたい。